

野良クラウドを防ぐ！ クラウドジャーニーを加速する 「AWS 利用標準ガイドライン」の策定とは

平松 加奈子

SCSK株式会社

ソリューション事業グループ クラウドサービス事業本部 サービス開発推進部



SCSKが「**AWS利用標準ガイドライン**」策定サービスを通して、
どのようにお客様の**クラウドジャーニーの加速**を支援するのか
実際の事例を含めてご紹介いたします。

SCSKの提供するAWSサービスはこちら

URL: <https://www.scsk.jp/sp/usize/service/public.html>

WebページQRコード



平松 加奈子(ひらまつ かなこ)



所属:ソリューション事業グループ クラウドサービス事業本部
サービス開発推進部

役割:クラウドサービスのソリューション営業

好きなAWSサービス:AWS Lambda、Amazon Connect

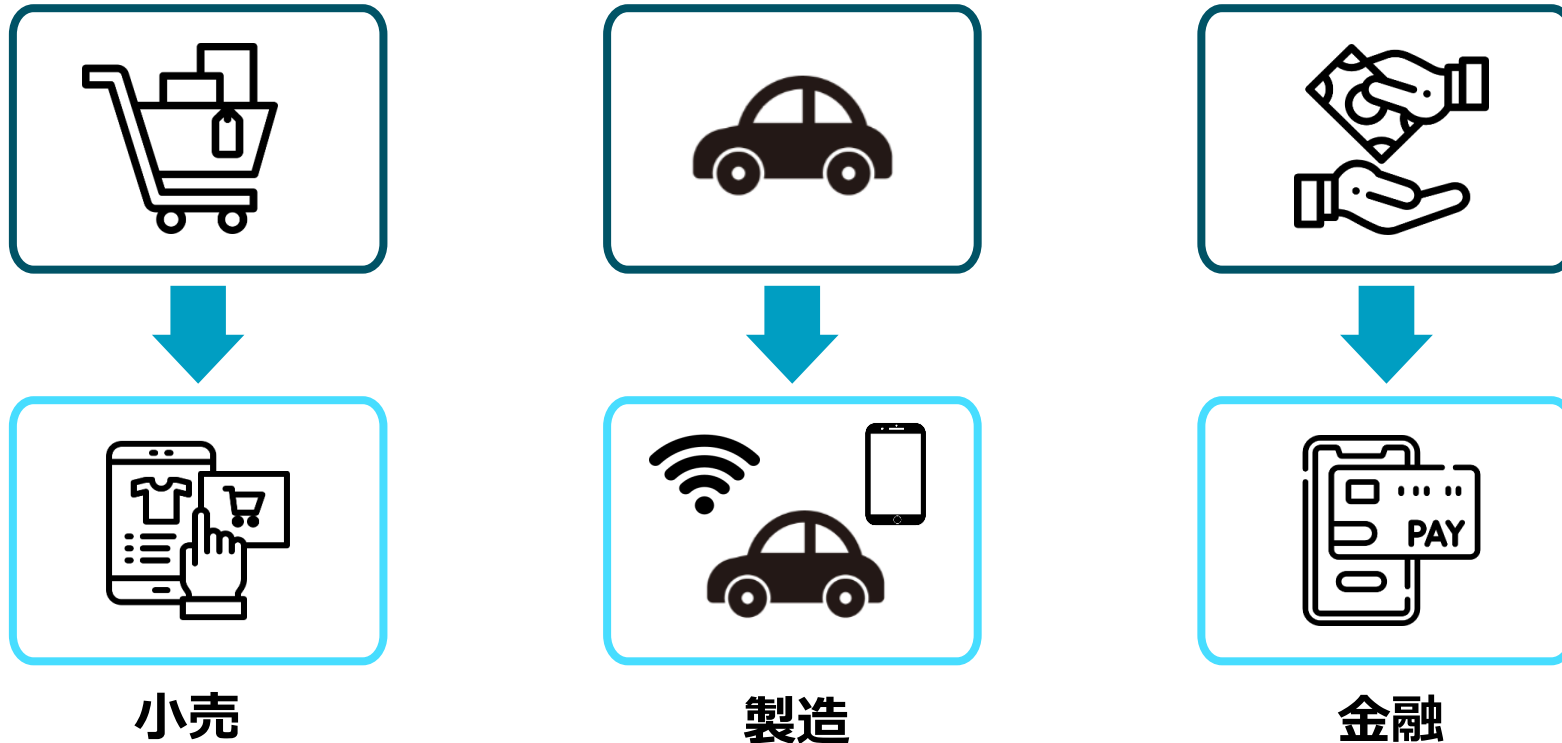


- 1.なぜ、「AWS利用標準ガイドライン」が必要か
- 2.SCSKの「AWS利用標準ガイドライン」策定サービスとは
- 3.SCSKとガイドラインを作成するメリット
- 4.お客様事例のご紹介
- 5.まとめ



1. なぜ「AWS利用標準ガイドライン」が必要か

ITを武器にした新しいサービスの誕生、異業種参入により、
ビジネスモデルが変化



デジタルを前提にプロセスを実装しており、ビジネスのスピードが速い！



クラウドのメリットを最大限に活かしたクラウドネイティブなビジネスプラットフォーム
を実現するための**クラウドジャーニー**が必要

※クラウドジャーニー＝クラウド化への継続的な取り組み

では、クラウドのメリットを最大限に活用し、
クラウドジャーニーを実現するためには何が必要でしょうか？

- 各部署がばらばらにクラウドを利用している、、
- 無駄なコストがかかっていないか、セキュリティが守られているか、、
- クラウドの設計手法が分からない、、
- 各部署にどのようにクラウドの利用を促進すれば良いかわからない、、
etc...



これらを放置するとクラウドの価値を最大化できないだけでなく、
野良クラウド化する恐れもあります

野良クラウドとは・・・？

ユーザー部門が独自に導入するなど、
情報システム部門が導入や運用を把握していないクラウドサービスの
総称であり、放置すると組織の管理上で悪影響を及ぼす可能性がある

...にAWSを利用している...

ITガバナンスを効かせて、クラウドを使い倒したい！

- 各部署に...



まずは、社内のクラウド利用ルールを整備・浸透させることが必要です

クラウドのメリットを最大限に活用



AWSベストプラクティスに沿った
適切な利用

AWS利用標準プラットフォーム
(構成テンプレート、運用基盤)

AWS利用標準ガイドライン

組織的に
社内にルールを浸透



2. SCSKの「AWS利用標準ガイドライン」策定サービスとは

お客様がAWSの理解を深め、ガイドラインを策定し、適切に運営するまでをサポートします。

0. お客様の現状を理解

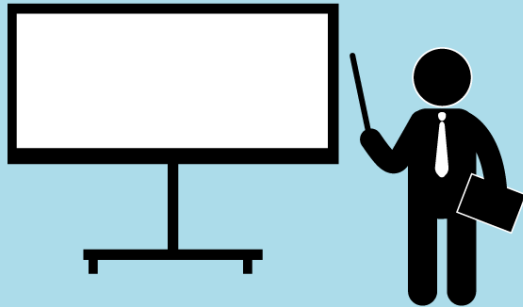
1. クラウドネイティブな考え方のトランスファー

2. AWS利用標準ガイドラインの策定

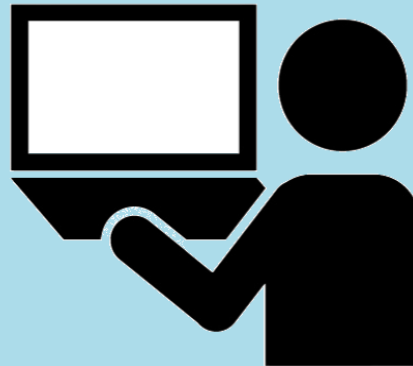
1. クラウドネイティブな考え方のトランスファー

SCSKがこれまでの実績で得たAWS活用ノウハウをもとに、
講義・ハンズオン・ディスカッションを行い、お客様にクラウドネイティブな考え方をスキルトランスファーします。

講義



ハンズオン



ディスカッション



2. AWS利用標準ガイドライン策定

運営方針、設計方針、ユーザー部門への展開を考慮しAWS利用標準ガイドラインを策定します。



クラウドCoE組織

クラウド利活用によって、よりビジネスを加速させるため、ベストプラクティスやフレームワーク、ガバナンスを作成・伝導・制度化するための専門の人材を集めたチーム



2. AWS利用標準ガイドライン策定～運営方針の検討～

お客様の現状組織構造を理解し、最適な形でのクラウドCoE組織設立のご提案、その役割と運営方針を策定します。

お客様環境の理解

ディスカッションしながら
お客様環境の理解

クラウドCoE組織の設立

現状組織構造を考慮した
クラウドCoEの設立
及び機能・役割を定義し
運営体制を決定

クラウド利用プロセス の検討

申請、稟議、
払い出しプロセス等を検討

クラウドアドバイザー
コンサルタント



AWS開発・運用ノウハウ

運用テンプレート

2. AWS利用標準ガイドライン策定～設計方針の検討～

お客様の実情を把握し、AWSベストプラクティスに基づいたお客様独自の設計ルールを策定します。

システム環境の定義

本番環境、ステージング環境、開発環境などシステムライフサイクルにあわせた環境の定義づけを行う



設計方針の策定

以下の事項を検討

- ・ 利用体制と責任分解点
 - ・ システム設計ガイド、稼働率別デザインパターン
 - ・ ネットワーク
 - ・ 運用 — 監視、バックアップリストア
 - ・ セキュリティ、監査、アカウント
 - ・ 命名規則
- …etc

クラウドアドバイザー
コンサルタント

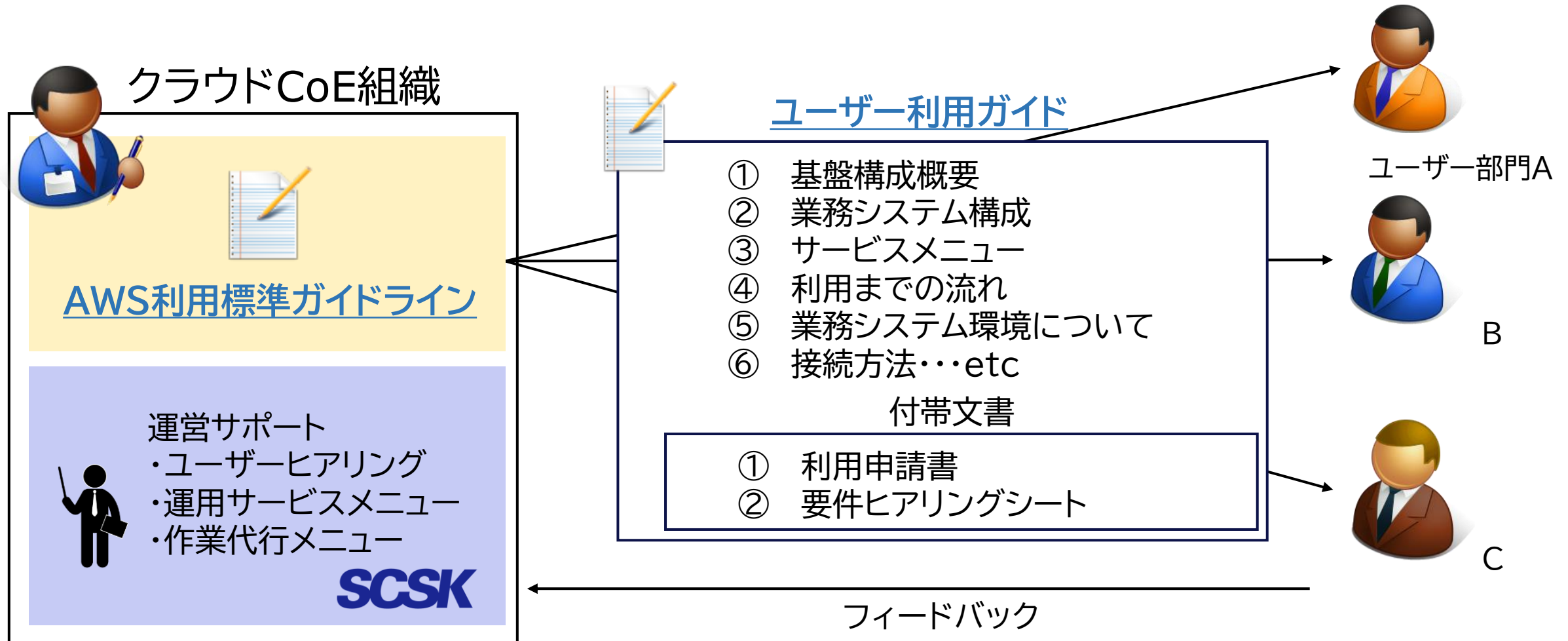


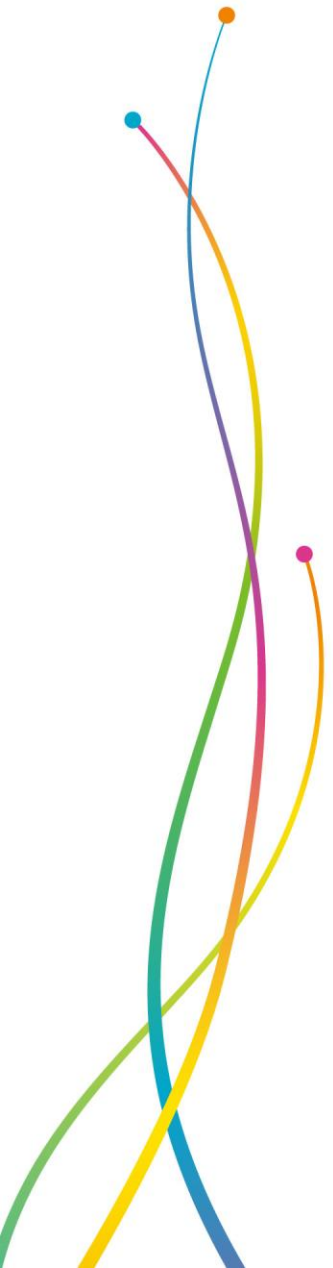
AWS開発・運用ノウハウ

構築テンプレート

2. AWS利用標準ガイドライン策定 ～ユーザー部門への展開の検討～

ユーザー部門がどのようにAWSを利用したいかをヒアリングし、ユーザー利用ガイドにまとめ展開します。





3. SCSKとガイドラインを作成するメリット

お客様が1から作るのではなく、SCSKのノウハウをご活用いただくことで、策定までの時間短縮と、抜けもれのない検討が可能です。

策定までの時間を短縮



抜けもれない検討が可能

AWSのベストプラクティス

非機能要件

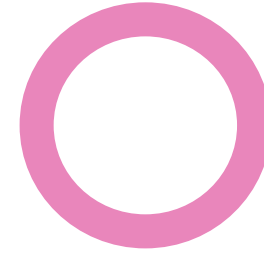
SCSKのノウハウ

AWSのベストプラクティスによるルールの策定と、AWSサービスをベースとした構築テンプレートを用意することで、ベンダーロックインを防止します。



AWSネイティブな開発
を行いつらい

ベンダー独自環境による制約
(ロックイン)



AWSネイティブな開発
を行やすい！

AWSサービスをベースとした
構築テンプレート



4. お客様事例のご紹介

課題

- 担当者任せの構築によって、セキュリティや既存ネットワークとの整合性が担保できない野良クラウドが存在している
- 情報システム部の負荷を下げ、社内共通の基準のもとでAWSを利用できるようにしたい

効果

社内共通の基準でAWS構築ができるようになった！

- ・データ利活用基盤構築のベースにできた
- ・クラウドネイティブな考え方を習得



実施内容

×11Sprint(Week)

決められたテーマに沿って講義

ディスカッション

ガイドラインの策定

プロジェクトマネージャ
(お客様)



クラウドアドバイザリー
コンサルタント(SCSK) 2名

- ・インフラ担当(お客様)
- ・アプリケーション担当(お客様)



・エンジニア(SCSK)

社内に利用ルールを浸透

CCoE組織

パイロットプロジェクトでの
試用を通して、
ガイドラインの精緻化

ユーザ部門



SCSK

- ① **ルールを用意してガバナンスをきかせる**ことで、クラウドのメリットを最大限に活かすことが可能
- ② お客様にAWSの理解を深めていただき、適切に運営していくための**クラウドCoE組織運営支援**も実施
- ③ SCSKのサービスを利用することで、**コスト・策定期間の削減が可能**で、かつ**ベンダーロックインの心配は不要**

SCSKはクラウドジャーニーの加速のため、
導入～改善までフルラインナップでサポートします。

ガバナンス整備
利用標準ガイドライン策定

クラウドリフト
クラウドへの移行

クラウドシフト
クラウドネイティブな活用



お問い合わせはこちらから！



SCSK

夢ある未来を、共に創る。

Thank you!

平松 加奈子

SCSK株式会社

ソリューション事業グループ クラウドサービス事業本部 サービス開発推進部

